

(別紙2)

3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】

イノベーション創出事業（A事業 ①）

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

長野県では、「長野県産業振興プラン（2023～2027年度）」を策定し、テクノロジーを活用した「世界に伍する産業」の創出・振興（県内産業の稼ぐ力の向上）を目指している。

その一環として、長野県では「イノベーション創出事業」を予算化した。当機構では、当該事業の実施機関として、支援対象となるプロジェクトの認定や、当該プロジェクトに対する企画・研究から開発、テストマーケティング・商品化、販売拡大までの一貫支援を役割として担った。

本事業では、各プロジェクトが開発・事業化に向けて着実に進捗するよう、研究、開発、テストマーケティング・商品化及び販路拡大に係る諸活動に要する経費の一部を助成した。

○事業の内容

支援対象者が行う次のいずれかに合致する取組における、研究、開発、テストマーケティング・商品化、販路拡大等に必要となる経費の一部を助成する。

- ・従来とは大きく異なる新商品（新製品・新サービス）の開発・事業化
- ・生産工程や流通工程を大きく改善することにより、商品の価値を大きく高めるもの
- ・既存商品の改良、新規商品の開発等により新たな市場に参入し、新たな顧客やニーズを開拓するもの
- ・商品をつくるための材料や、その原材料の供給ルートを新規開拓・確保することにより、商品の価値を大きく高めるもの

○支援対象者

以下の県内中小企業であって、本事業へ申請を行い、その内容が本事業の趣旨に合致し、更に審査委員会により認定されたプロジェクトを行う者とする。

- ・少なくとも1社以上の異業種（主たる事業が産業大分類又は産業中分類で異なることをいう。）の企業との連携により、「事業内容」に定める事業を実施しようとする県内中小企業

※県内中小企業の定義

- ・中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条に規定する中小企業であって、県内に本社、研究開発拠点、新規事業開発拠点等がある者とする。ただし、「みなし大企業」を除く。

○支援対象経費項目

下記のとおり支援対象経費を設定する

対象経費	内容
人件費	支援対象事業に直接従事する者の人件費
設備備品費	支援対象事業に用いる機械、装置、工具、器具、備品等
原材料・消耗品費	試作、サンプル作成等に用いる原材料及び副資材等
外部指導受入費	講師等の外部専門家の謝金、旅費等
会議費	支援対象事業に必要となる会議のための会場費等
委託費	設計、性能評価等の外部への委託費用
外注加工費	相手先へ仕様を提示して行う加工等の外注費用

印刷製本費	チラシ、パンフレット等の印刷製本
展示会等出展費	展示会出展の小間料、装飾料等
広告宣伝費	PRのためのメディア掲載料等
知的財産関連経費	特許等の出願に必要となる弁理士費用等
その他	理事長が必要と認める経費

- 補助率 1 / 2 以内
- 補助上限額 200万円（特に理事長が必要と認める場合は400万円）
- 交付企業数 14社

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】
補助金を交付した14社における主な成果は次のとおり。

企業名	プロジェクト名	実施結果・成果
A社	地域名産品のブランド向上プロジェクト	製造工程を遠隔地からモニタリングするIoTシステムについて、顧客ニーズを収集しつつ改良開発を行い、新規システムについても企画構想を進めた。他県への営業活動も行い、他地域への展開可能性を模索した。地域顧客への販売実績が得られており、更なる周知による拡販が期待される。事業拡大に向けた着実な活動がみられた。
B社	次世代の切断工具	次世代の切断工具を開発するべく、工具の構造やより効果の高い製造方法、材料の探索・選定等の研究を進めた。一次開発品については、売上が伸びており、今後も販売量の増加が見込まれる。二次開発品については、引き続き検証等を進めることで、製品化が期待できる。着実にプロジェクトが進展した。
C社	高速検査装置の営業展開	同社の検査装置の精度向上のため、新たな部品をデモ機へ導入。また、営業担当人材の採用、展示会出展や顧客候補との打合せを行い、認知度の向上に努めた。開発、販路拡大に向けた、着実な活動がみられた。
D社	新たな治具管理システムの開発	治具に電子タグを内蔵するとともに、客先で納入された治具の製造履歴を閲覧できるシステムの開発を推進。これまでの開発により客先での治具管理の効率化が図れるとともに、同社では今後の予知保全活動のデータとして利用できる。事業化に向けた着実な活動がみられた。
E社	植物の育成状況を把握する機器の開発	当該機器を開発・事業化するべく、現場検証用の試作品の改良、ソフトウェアの開発等を進め、実証実験の一手前まで進捗。また、デバイス開発の課題である小型化・省電力化に関する検証を進め、生産者による現場検証が可能な試作機を作成した。引き続き測定精度の向上を図ることで、実証実験、ひいては製品化へと進展することが期待できる。着実な取組がみられた。

F社	地域の銘石を使った新たな製品開発	地域の銘石を用いた建築材料を商品化。端材を用いた新たな壁面材料や左官材料について、デザインを含めてPR試作品をつくり、展示会等で顧客の反応を聴取した。認知度向上や新たな受注に繋がっており、事業拡大に向けた、着実な活動がみられた。
G社	水処理機器・システムの開発・事業化	浄水システムの実証実験を進めるため、設備を導入し、ラボレベルの実験から実用的な処理能力に近いレベルのユニット製造が可能となった。試作品を用いた実フィールドでの実証実験を行い、その性能データや現行の除去設備との優位性等を確認した。事業化に向け着実にプロジェクトが進展した。
H社	光学部品の加工技術開発と商品化	試作品の内部構造の見直しを行い、Ver.2まで造形、実証実験を行い、特性と能力の確認を行った。得られた知見を展示会等で紹介したところ、新たな市場ニーズが確認できた。課題に対しての解決方法もすでに実行段階に入っており、製品化に向けた着実な活動がみられた。
I社	電気治療器具の開発	電気治療器具の加工方法の開発を実施。複数の加工方法から有効な方法を抽出し試作を行った。当該試作品をもって顧客ニーズを聴取し、改善点も見出した。更に、美容用途以外への展開可能性も示唆され、製品化後の用途拡大が期待できる。事業化に向けて着実な活動がみられた。
J社	ペット関連商品を切り口とした販路開拓	ペット関連の団体と議論する機会を得て、試作の方向性が具体化し、初期試作を作成。当該試作をもって、前述のペット関連団体の協力のもと今後、市場の反応を聴取し、次の試作へ反映する計画を立てた。事業化に向けて着実な活動がみられた。
K社	農業被害対策サービス開発プロジェクト	サービスに必要な複数のプログラムの開発及び統合テストを実施。概ね期待どおりの結果が得られた。本事業の特許取得に伴い、特設サイトの更新、プレスリリースを実施し新聞にも掲載されるなど、事業の進展がみられた。
L社	きのこ関連製品の事業化・販路開拓	今後の拡販に向け、生産体制の見直し等を実施。個別商品については、新製品の開発も行い、試作を計画している。また、総代理店との契約や、首都圏の店舗等販売先を開拓。プロジェクトの着実な活動がみられた。
M社	県内産木材を使った新製品の開発	県内産の木材を使った新たな製品を開発すべく研究を進めた。試作品を開発し、強度や改質について試験を実施しデータを取得した。試験を行う中で、新たな課題や実験の必要性を確認することができ、製品化に向けた着実な取り組みがみられた。

N社	有機物処理装置のシステム開発	有機物処理装置に AI 機能を追加することで業務効率化を目指し、モニタシステム構築を実施。各種センサーからデータ取得した。次年度は、データの解析を行い、AI 化の実証実験の準備を進めていく。実装に向けた着実な取組がみられた。
----	----------------	--

以上のとおり、各社とも具体的な開発・事業化に着手し、試作品が完成したのは8社（D、E、G、H、I、J、K、M社）、商品の販売を開始したのが1社（B社）、本格的な営業拡大に至ったのが5社（A、C、F、G、L社）、試作品開発に向け目途が立ったのが1社（N社）といった結果が得られた。

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

- ・今後の各プロジェクトの開発・事業化や本格的な売上拡大に向けて、各社とも一定のステップまで進捗しており、そのことは評価できると考えている。
- ・一方、具体的な開発成果の上市又は売上拡大はいずれの企業もこれからであり、引き続き取組状況を確認し、必要に応じた支援を行うことにより、最終的な売上目標等を達成できるようにしていくことが必要である。

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

- ・本事業により支援した企業各社の取組については、前述のとおり引き続きフォローを行い、将来的な売上拡大などの効果測定を行っていく。
- ・引き続き、県内中小企業によるイノベーションに繋がり得る取組への支援が重要であることから、支援先企業の拡大に努める。

【事業名】

イノベーション創出プロジェクト発掘・育成事業（A事業 ②）

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

前述のとおり、長野県による「イノベーション創出事業」の実施により、当機構では、当該事業の実施機関として、支援対象となるプロジェクトの認定や、当該プロジェクトに対する研究から開発、テストマーケティング・商品化、販売拡大までの一貫支援を役割として担った。

当該役割において、各プロジェクトの進捗管理や新たなプロジェクト候補の発掘・育成等を担うプロジェクトマネージャーを配置し諸活動を実施した。

○事業の内容

本県における既存の外貨獲得産業の強化や新たな外貨獲得産業の創出に寄与しうるプロジェクトの発掘・成長支援を行うため、

- ・プロジェクトの進捗管理を行うプロジェクトマネージャーを配置
- ・プロジェクトマネージャー及び機構職員による、プロジェクト進捗管理のための企業訪問、支援機関訪問及び連携促進、国、県等の支援施策導入支援等を実施する。

○支援対象者

県内において研究開発や新規事業開発に取り組む中小企業

○支援対象経費項目

プロジェクトマネージャー人件費、旅費、通信運搬費、PC 借料等

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

- ・プロジェクトの認定件数 15 件（内 1 社は補助金交付なし）
- ・プロジェクトの発掘・育成活動 延べ 102 件の企業訪問を実施し、
15 社に対し具体的支援を実施した。

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

- ・プロジェクトの認定・支援件数は、当初計画の 15 件程度に対し 15 件であり、件数は達成しており、その点は評価できると考えている。一方、各プロジェクトは開発・事業化の途上であることから、各社が掲げる最終的な目標達成に向けて、支援が求められる。
- ・また、延べ 102 件の企業訪問等から、更なる支援ニーズも顕在化してきていることから、それらの取組の認定や支援開始が求められる。

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

- ・今後、各プロジェクトが開発・事業化や本格的な売上拡大に向けて着実に進捗するよう、プロジェクトマネージャー等による伴走支援が必要。
- ・引き続き、県内中小企業によるイノベーションに繋がり得る取組への支援が重要であることから、支援先企業の拡大に努める。